



平成 28 年 10 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社島精機製作所
 代 表 者 名 代表取締役社長 島 正 博
 (コード番号 6222 東証 1 部)
 (問合せ先) 取締役経理財務部長 南 木 隆
 (TEL 073-471-0511)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 2 日に公表した業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,000	5,500	5,300	3,400	99.36
今回修正予想 (B)	29,600	5,500	2,300	1,700	49.68
増減額(B-A)	△400	0	△3,000	△1,700	
増減率(%)	△1.3	0.0	△56.6	△50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	22,513	1,992	2,437	1,621	47.40

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	63,000	11,500	11,000	7,000	204.57
今回修正予想 (B)	63,000	11,500	8,000	5,500	160.74
増減額(B-A)	0	0	△3,000	△1,500	
増減率(%)	0.0	0.0	△27.3	△21.4	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	49,582	5,781	4,532	3,271	95.61

平成 29 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,500	4,500	3,000	87.67
今回修正予想 (B)	24,740	120	10	0.29
増減額(B-A)	△760	△4,380	△2,990	
増減率(%)	△3.0	△97.3	△99.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	17,160	2,058	1,460	42.68

平成 29 年 3 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 28 年 4 月 1 日 ~ 平 成 29 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	55,000	9,200	6,200	181.19
今回修正予想 (B)	55,000	5,700	4,000	116.90
増減額(B-A)	0	△3,500	△2,200	
増減率(%)	0.0	△38.0	△35.5	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月 期)	42,940	5,514	3,918	114.52

修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間においては、概ね順調な業績推移となりましたが、急激な円高の影響で売上高は計画を若干下回る見込みとなりました。営業利益においては製造原価低減等により当初計画を確保する見込みです。経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、円高により約 36 億円（個別約 35 億円）の為替差損の発生が見込まれ、前回予想を大きく下回る見通しとなりました。

下半期においても円高による換算価格低下は見込まれるものの、なお一層営業活動を強化して当初計画を達成するよう努めてまいります。第 2 四半期連結累計期間で発生した為替差損を織り込み、通期業績予想の経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の額を修正致します。

個別業績予想数値の修正についても連結同様の理由によります。

なお、下半期および期末における為替レートは 1 ドル 102 円、1 ユーロ 112 円を想定しております。

(注) 上記予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる場合があります。

以 上